

熊本県学生献血推進協議会 活動報告



熊本県学生献血推進協議会



2023. 11. 9
令和5年度 熊本市献血推進協議会

熊本県学生献血推進協議会

～学推協構成大学～

- ・熊本大学
- ・熊本県立大学
- ・熊本学園大学
- ・崇城大学
- ・九州看護福祉大学
- ・九州ルーテル学院大学
- ・東海大学(九州)
- ・尚絅大学
- ・熊本保健科学大学
- ・個人加盟(熊本看護専門学校)

年間活動内容（令和4年度）

月	日	動	場所
7	2. 9	愛の血液助け合い運動	下通献血ルーム
12	11	全国学生クリスマス 献血キャンペーン	イオンモール熊本 下通献血ルーム
1	9	はたちの献血キャンペーン	下通献血ルーム
		定例会（月1回）	WEB
		学内献血（4・6・7・10・12・1月）	各大学

年間活動内容（令和5年度）

月	日	動	場所
7	8	愛の血液助け合い運動	下通献血ルーム
12	17	全国学生クリスマス 献血キャンペーン	イオンモール熊本 下通献血ルーム
1	8	はたちの献血キャンペーン	イオンモール熊本 下通献血ルーム
		定例会（月1回）	熊本県赤十字 血液センター
		学内献血（4・6・7・10・12・1月）	各大学

熊本県学生献血推進協議会リーダー研修会 (芦北研修)

～目的～

新しいメンバーとの親睦を深め、献血の知識と若年層への啓発
の重要性について理解を深める

～内容～

- ・血液事業や献血の知識向上
- ・学内献血やキャンペーンイベントについての話し合い
- ・グループディスカッション



血液センターオープンキャンパス (夏イベ)

～目的～

高校生を対象に献血について知ってもらう

～内容～

クイズなどで献血について学んでもらい、グループディスカッションや模擬献血でさらに献血について考えを深めてもらう

～令和元年度実績～

熊本県内15高校から43名参加



全国学生クリスマス献血キャンペーン

～目的～

年間を通して最も少ない冬場の血液不足を補う事

～内容～

イオンモール熊本、下通り献血ルームCOCOSAにて、学生が企画を行い献血を実施(学生による全国統一イベント)。

熊本県では例年キッズスペースや献血カフェを設置するが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からクリスマスをイメージさせる衣装での呼びかけに専念した。

～令和4年度実績～

受付数 174名 献血者数 158名



はたちの献血キャンペーン

～目的～

「はたち」を迎えた若者を中心に献血思想の普及と、冬場の献血者の安定確保を図る

～内容～

新成人の人に向けてイオンモール熊本、熊本城ホール、献血ルームにて呼びかけを行う。(R4は献血ルームのみ)

～令和4年度実績～

受付数 90名 献血者数 81名



献血セミナー

～目的～

若年層のさらなる献血協力者数を増やすこと

～内容～

若年層に対する理解と協力を促すとともに、若年層の献血についての正しい知識の発信を図る(各大学で実施)

～令和4年度実績～

9大学で8回実施 受講者計2,018名



学内献血

～目的～

減少傾向にある若年層の献血者に、より献血というものを直接知ってもらい、献血を行ってもらうため

～内容～

県内9大学で年1回～3回学校内で献血を行う

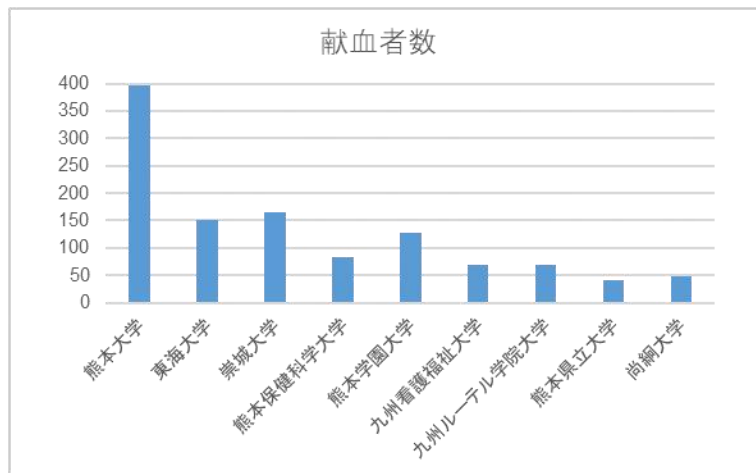
～令和4年度実績～

※次ページ参照



令和4年度 大学別献血者数

大学名	献血数	台数	1台あたり
熊本大学	396	7.5	52.8
東海大学	151	3	50.3
崇城大学	164	3	54.7
熊本保健科学大学	82	2	41
熊本学園大学	127	3	63.5
九州看護福祉大学	69	2	34.5
九州ルーテル学院大学	68	2	34
熊本県立大学	※41	0	0
尚綱大学	47	1	47
合 計	1,145	23.5	48.7

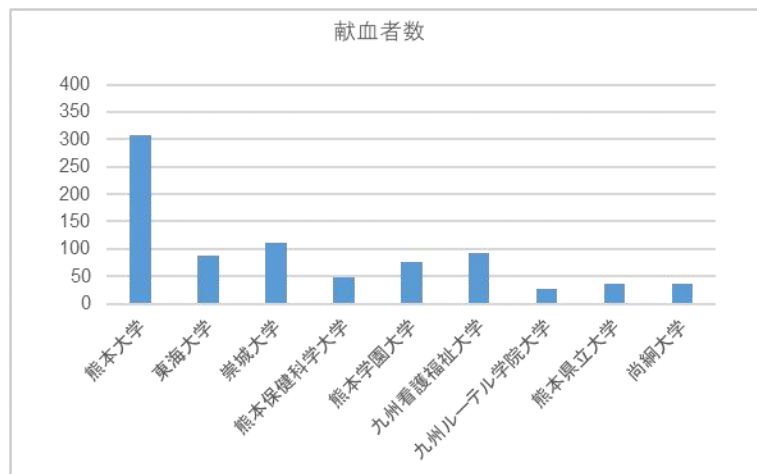


※R2年度より、熊本県立大学はバスを配車せず、
県立大WEEKと題して献血ルームへの呼び込みを実施。

R3年度から献血者数348名増加

令和5年度 大学別献血者数 (※ R5.11.9 現在)

大学名	献血数	台数	1台あたり
熊本大学	308	6	51.3
東海大学	87	2	43.5
崇城大学	111	2	55.5
熊本保健科学大学	49	1	49
熊本学園大学	76	2	38
九州看護福祉大学	93	4	23.2
九州ルーテル学院大学	27	1	27
熊本県立大学	※37	0	0
尚綱大学	36	1	36
合 計	824	19	43.3



※R2年度より、熊本県立大学はバスを配車せず、
県立大WEEKと題して献血ルームへの呼び込みを実施。